

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年3月29日(2012.3.29)

【公開番号】特開2010-283554(P2010-283554A)

【公開日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-050

【出願番号】特願2009-134666(P2009-134666)

【国際特許分類】

H 04 J 11/00 (2006.01)

H 04 J 99/00 (2009.01)

H 04 B 7/06 (2006.01)

【F I】

H 04 J 11/00 Z

H 04 J 15/00

H 04 B 7/06

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月15日(2012.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0090

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0090】

また、Difference Pilot信号は、送信装置52-1および52-2において位相が反転された信号である。したがって、図10に内訳されるように、Difference Pilot信号に基づいて求められる伝送路特性Bは、伝送路T×1およびT×2の特性が減算されたものである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0119

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0119】

ステップS15において、シンボル同期部85は、時間補間後Sum Pilotを用いて、IFFT処理を施すことにより、シンボル毎の伝送路特性推定を行う。その結果、全てのシンボルに対して、周波数方向に6キャリア毎の伝送路特性Aが推定される。そして、図10を参照して上述したように、推定された伝送路特性Aのみを用いて、近くに設置されている送信装置52-1および52-2からの2つの伝送路T×1およびT×2の特性を示す伝送路プロファイルP1およびP2が得られる。なお、送信装置52-1および52-2が近くに設置されている場合には、伝送路プロファイルP1およびP2は、ほぼ同じ特性を示すものである。